

2022 年 4月10日(主日) さいたまに在る教会

■さいたまに在る召会からのお知らせ:

<主日集会(4/10)追求する朝ごとのテーマ>

↓ サムエル記上、下 結晶の学び(1)
第6週 ダビデの歴史にみられる霊的な原則、命の学課、聖なる警告

<各種案内>

- 1. 宗派のクリスチャン向けの兄弟姉妹の多くの証しが、YouTube に多く載っています。 YouTube を開いたら、検索欄で、「健康な言葉」と打ち込んで検索してください。
- 2. 朝ごとの食物の進度予定:
 - ▶ 02/28(月)-05/22(主): サムエル記上、下、第 1~12 週
 - ▶ 05/02(月)-05/08(主): 全国特別集会の内容より
 - ▶ 05/09(月)-05/29(主): サムエル記上、下、第 10~12 週
 - ▶ 05/30(月)-07/03(主): 国際華語特別集会第1~5週
- 3. 5月全国特別集会:
 - ▶ 4/29(金・祝) 10:00-12:00 責任者集会(ロンBのライブの交わりあり)
 - 4/29 (金・祝) 14:00-16:00 集会1 (事前収録・以下同じ)
 - 4/30 (土) 10:00-12:00 集会 2 14:00-16:00 集会 3
 - > 5/01(主) 10:00-12:00 集会4 14:00-16:00 集会5
 - ▶ 5/07 (土) 08:30-10:00 ロンBと現役訓練生との交わり (ライブ)
 - ▶ 5/14 (土) 08:30-10:00 □ンBと訓練卒業生との交わり (ライブ) ※全国特別集会日本語御言付きアウトラインの申込みがきています。一部 500 円です。注文する方は、10 日までにさいたまに在る召会のラインに氏名と部数をお知らせください。
- 4. 9月全国特別集会: 9/17(土)、9/18(主)、9/19(月·祝)
- 5. ウクライナについて: JGW 宛てに送金されたウクライナのための献金は、3/29 現在では合計 20,585,625 円、4/05 (火) 現在では、合計 22,402,625 円です。3/22 (火) に、10 万ドル (日本円で 12,204,000 円相当額) を送金済み。4/05 (木) に、4 万ドル (日本円で 4,942,400 円相当額) を追加で送金済み。 (LME からの確認待ち)。

<福音行動>

路上福音、与野駅西口周辺、火曜日 10 時半~12 時、参加人数 4 人福音ビラ小袋 85 個配布

<牧養>

土田香織姉妹との聖書通読、都合によりしばらくお休みになります。お祈り下さい。 小澤由佳姉妹と久しぶりに連絡が取れるようになりました。感謝します。

<伊藤家の小組み>

ミニストリーダイジェスト第3期第3巻(上)「奉仕」編

<キリストの増殖と召会の拡増の手段>

使徒行伝において使徒たちの行動と働きを見ますが、実際は復活したキリストが彼の昇 天において彼の力の霊によって彼を信じる人たちを通してこの地上でどのように増殖し続 けているかについて語っています。この増殖の働きは今日も続いており、使徒行伝は継続 しています。

☆ 使徒行伝における召会の拡増と開展の手段。 使徒行伝において召会の拡増と開展 の 5 つの手段を見せています。

①エコノミー上の霊、すなわち力の霊②祈り③神の言葉すなわちキリストご自身④信者たちの家、家から家でパンをさき祈っていた⑤イエスの証人。これらの5つの手段を使って召会は拡増し開展していきました。

☆ 祈りの重要性。福音を宣べ伝え主の言葉を語るにはまず祈らなければなりません。 祈りの中で人々を主にもたらすべきです。祈りは天上にいる支配たちと権威たちを対処するために必要です。祈りにおいて堅く継続する必要があります。私たちは迅速に結果を見ることができないなら失望するかもしれませんが、諦めてはなりません。ジョージ・ミラーは絶えず祈った人の良い例です。彼が祈った人は最終的にすべて救われました。彼が死んだ時、一人か二人救われてはいませんでしたが、その後、残りの人たちもすべて救われました。

<主の証人として福音を宣べ伝える>

使徒行伝 1:8 主は弟子たちに言われました「あなたがたは……エルサレムにおいても、ユダヤ全土とサマリヤにおいてもまた地の果てまでもわたしの証人となる」。この意味は主の死と復活を自ら経験した弟子たちがこの十字架につけられ、復活し、昇天したイエス・キリストを証ししたということです。これが私たちに示していることは、真の福音の宣べ伝えが十字架につけられ死んで復活させられるという生活によって主の命の証し人となり、キリストを表現し、キリストを人の中に分与し、キリストを増殖するということです。

☆ すべてのことで死と復活を経過する。奉仕に関して私たちが注意すべきことは外側の活動ではなく、内側で死と復活を経過しているということです。外側で労苦、熱心があっても内側で死と復活を経過していないなら、主が求めておられるものではありません。私たちは、絶えず自分を死に渡し、復活の中で神の中へと入り、神と調和されて、事を行うなら、神の味わいを持ち、祝福されるでしょう!

<JGW からの各諸召会の祈り: From さいたま>

- ♦ 召会での福音行動を祝福して下さいますように。
- ◇ 各自がみことばを享受し、バイタルになり、福音の負担を取ることが出来ますように。
- ◆ 1人が1人を牧養し、残る実を結ぶことが出来ますように
- ⇒ 新しい集会所が祝福され、福音、牧養、ブレンディングに用いられますように。